

## ラトビア、ルーマニア、仏の研究者・文化機関トップ 日本の文化視察に来日 都内などで講演も

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、毎年各国から文化の専門家を招へいする「文化人招へいプログラム」を実施しています\*。2011年2月には、ラトビア国立オペラ劇場館長、ルーマニア文化会館館長など3名が来日し、日本の関係者、有識者とのネットワークを築くため、文化機関などを視察します。

2011年2月11日(金)～2月24日(木)

フランス エリー・デュリング / Elie During  
パリ第10大学准教授

講演会 2011年2月21日(月) 15:00～18:00

「注意のテクノロジーと共存の形式：都市空間の生政治」

Technologies de l'attention et formes de coexistence: biopolitique de l'espace urbain

会場 大阪大学吹田キャンパス人間科学研究科・東館303（共催 国際交流基金）

使用言語 フランス語（日本語通訳あり） 事前申込み不要

問い合わせ tokimeki.bios@gmail.com ウェブ <http://tokimeki.hus.osaka-u.ac.jp/vol11.html>

2011年2月14日(月)～2月28日(月)

ラトビア アンドレイス・ジャガース / Andrejs Žagars  
ラトビア国立オペラ劇場 館長

2011年2月15日(火)～2月28日(月)

ルーマニア ホリア＝ロマン・パタピエヴィッチ / Horia-Roman Patapievici  
ルーマニア文化会館館長

講演会 2011年2月24日(木) 19:00 - 21:00

「ルーマニア的視点から見た日本と近・現代」

会場（共催） 在京ルーマニア大使館

言語 ルーマニア語（日本語逐次通訳付）

主催 国際交流基金 要事前申込み（03-5369-6060 生活文化チーム）

お問い合わせ 国際交流基金文化事業部 生活文化チーム 電話 03-5369-6060 FAX 03-5369-6036

【フランス デュリング氏】	担当：西川	E-mail：Yuka_Nishikawa@jpf.go.jp
【ラトビア ジャガース氏】	担当：和泉	E-mail：Himiko_Izumi@jpf.go.jp
【ルーマニア パタピエヴィッチ氏】	担当：鈴木	E-mail：Saya_Suzuki@jpf.go.jp

\* 「文化人招へいプログラム」とは…

国際交流基金では、各分野を代表する優れた文化人を日本に招へいし、日本を体験していただくとともに、関係者との意見交換を行ない、日本理解と人的ネットワークづくりを促進する「文化人招へいプログラム」を毎年実施しています。同プログラムにより、これまでに、文化人類学者クロード・レヴィ＝ストロース（フランス／1977）、作家マリオ・バルガス・リョサ（ペルー／1979）、ビデオ・アーティスト ナムジュンパイク（米国／1984）、精神分析学者フェリックス・ガタリ（フランス／1987）、作家ガルシア・マルケス（コロンビア／1990）、作家カズオ・イシグロ（英国）などが来日しました。

フランス エリー・デューリング / Elie During  
パリ第 10 大学准教授

略歴 パリ第 10 大学で博士号（哲学）を取得後、アヌシー美術学校、リヨン国立美術学校の講師を経て、2008 年よりパリ国立高等美術学校教授とパリ第 10 大学哲学部准教授を勤める。主な著作に、『科学と仮説：ポアンカレ』（2001）、『マトリクス：哲学的機械』（共著、2003）、『ベルグソン「持続と同時性」批評』（2009）があるほか、美術関係の批評記事も多数。



ラトビア アンドレイス・ジャガース / Andrejs Žagars  
ラトビア国立オペラ劇場 館長

略歴 舞台・映画俳優として、ラトビア及びロシアの映画に多数出演した後、1996 年より現職。国際イベント「リガ・オペラフェスティバル」を開設し、海外からの音楽雑誌、新聞等の批評家、オペラ鑑賞者を招き、同劇場の作品紹介に努めるほか、若手オペラソリストのためのスタジオを開設し、若手オペラ歌手育成に尽力するなど、精力的に活動している。オレンジナッソー勲章オフィサー受賞（オランダ）など、受賞歴も多数。



\*ラトビア国立オペラ劇場とは

過去にリヒャルト・ワーグナーやブルーノ・ワルターも指揮者を務めたラトビア唯一の国立歌劇場。オペラ、バレエを中心に、毎シーズン 200 本以上の公演を実施。歌手、オーケストラ、バレエダンサーなど総勢 250 名以上が所属している。

ルーマニア ホリア＝ロマン・パタピエヴィッチ / Horia-Roman Patapievici  
ルーマニア文化会館長

略歴 ルーマニアを代表するオピニオン・リーダーとして、有力日刊紙「Evenimentul Zilei」、レヴィスタ 22 紙などにコラム、エッセイを多数執筆。国営テレビ・文化チャンネル（TVR Cultural）の番組プロデューサー等を歴任。これまで、ブカレスト科学技術研究所（物理課助教授）、ブカレスト大学哲学部（ドイツ研究センター長）、社会対話グループ（GDS）プログラムデザイナー等を経て、2005 年より現職。



\*ルーマニア文化会館とは、

ルーマニア文化のアイデンティティの保全や、ルーマニア文化の紹介を目的とした文化交流事業を国内外で展開する国立の機関。アーティスト、文学の紹介や、若手ルーマニア文学翻訳者の養成等も行っており、現在パリ、ロンドン他、ヨーロッパ各主要都市を中心に海外 18 拠点を有している。